

みさと 福祉だより

第14号

平成20年
12月10日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 〆0187-85-2291
印刷・五十嵐印刷株式会社



美郷町社会福祉大会 —— 今年度は仙南地区で開催 ——

「地域で暮らす誰もが、ふれあい・ささえあい・たすけあい 心の通い合うやさしい未来のまちづくり」を大会テーマに、10月23日(木)仙南公民館を会場に大勢の町民の参加を得て、第5回美郷町社会福祉大会が開催されました。

式典・地域の児童生徒による福祉活動の事例発表・アトラクションの三部構成で行なわれましたが、地域の福祉活動を改めて見直す良い機会になりました。この大会を契機に「住民参加による福祉でまちづくり」をなお一層進めてまいりたいと思います。

美郷町社協役員・評議員改選

新会長に佐藤成輝氏を選任

任期満了に伴う美郷町社会福祉協議会の理事・監事・評議員の改選が行われ、次のとおり選任されました。また、平成元年より六郷町社会福祉協議会会長、合併後は美郷町社会福祉協議会会長として長年に亘って尽力いただいた高柳照見氏が退任され、理事初会議において佐藤成輝理事（上千間谷地）が新会長に互選されました。新副会長には黒丸剛理事、加島徹理事がそれぞれ互選されました。新しい正副会長のもと、これからもなお一層『安全で安心して生活できる地域づくり』を目指して地域福祉活動を進めて行くことが確認されました。

就任のあいさつ

会長 佐藤 成輝



美郷町民の皆さまには日頃から地域福祉の推進に向けた本会の運営に多大なるご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このたびの改選にあたり、美郷町社会福祉協議会の会長を仰せつかったわけですが、大任であるがゆえに、現在はその責任の重さを痛感するとともに、ぜひとも町民の皆さま方のご協力をいただきながら、地域福祉向上に努めてまいりたいと強く決意しているところであります。

長引く経済不況のなかにあつて、最近では尊い人の生命を軽んじるような痛ましい出来事が後を絶ちません。人々の心まで荒んでしまったのかと勘違いするほどであります。しかし、このような時代であ

るからこそ地域のつながりが大切であると感じています。地域の人々の深いつながりと厚い信頼関係があれば、悲惨な事件や自殺などの痛ましい出来事をなくすることができるとはもちろんのこと、住民一人ひとりの福祉の向上が実現できるのではないかと思います。

美郷町が誕生して5年目を迎え、時の流れは旧町村の境を超えて地域住民の郷土心は今やひとつにまとまろうとしています。この共通の気持ちをもとにしながら、前会長が先頭になって実現をめざしてきた「福祉でまちづくり」をさらに推し進めていきたいと考えております。

今後、一人の不幸も見逃さない美郷町全体の福祉の向上に微力ながら努めて参りたいと決意しておりますので、ぜひ、町民の皆さま方にも本会が展開する福祉事業に積極的に参加していただきますようお願い申し上げます。

退任のあいさつ

前会長 高柳 照見



平成16年11月から本年11月まで美郷町社会福祉協議会の初代会長を務めさせていただきました。任期中、大過なく職をまっとうできましたのも、町民各位のご

理解、ご支援があつての賜物と心から感謝いたします。就任当初、本会はもとより、町にあつても合併直後というざわめきの中にあつて、地域全体が戸惑いの状況にあつたことから、いかに合併前と同じく社会福祉協議会を身近に感じ、少しでも不安なく生活していただけの環境を整えていくかに大きな力を注いで参りました。そして地域住民の落ち着きも少しは感じられるようになった平成17年、本会が全力を傾けて取り組んだものが秋田県社会福祉協議会からのモデル指定を受けての「地域福祉トータルケア推進事業」でありました。

それまで福祉施策に携わることのなかった人々の参加を得たことに加え、新たに誕生した美郷町に暮らす同じ地域住民として、同じ目的に向って知恵と力を出し合い、同じ充実感を味わったという点において、実に意義深いことであつたと感じております。

平成の大合併に揺れ、そして過去に例を見ないほど長期にわたり景気の低迷や不安定な政局の続く中、人々の心の充足が今ほど求められる時代はないのではないかと感じております。このような中で、本会の役割は今後ますます重要になっていくものと感じております。

職を辞しましても、微力ながら一町民として美郷町の地域福祉の向上に今後とも協力してまいりたいと思いますので、変らぬ皆様のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

新役員紹介

任期：平成20年12月1日～
平成22年11月30日



理事
進 藤 敏 美
(本堂西部)



理事
田 澤 千寿子
(中野)



常務理事
池 田 茂 基
(野中)



副会長
加 畠 徹
(塚)



副会長
黒 丸 剛
(上町)



理事
藤 井 康 子
(琴平)



理事
照 井 富士男
(元村)



理事
山 下 昭 夫
(作山)



理事
塙 常 観
(東高方町)



理事
高 橋 恒 二
(天神堂)



理事
相 馬 俊 廣
(東高方町)



監事
五十嵐 博
(上深井)



監事
監 木 豊 文
(第一晩)



監事
小 西 弘 蔵
(米町)



理事
辻 志
(赤城)



理事
高 橋 優
(千屋中部)



理事
澁 谷 久 一
(上萩沢)

監事

評議員

小野寺 悦子(万願寺)
藤 嶋 政 春(第一晩)
鈴 木 タキ子(大坂)
高 橋 博 樹(上町)
佐々木 義己(長岡森)
橋 正 幸(外川原)
高 橋 正 幸(本道町)
高 橋 正 幸(本道町)
中 村 裕 子(御前)
大久保 一 男(本館)
高 橋 テイ(本道町)
福 井 要 子(小荒川)
照 井 恒 夫(駅前)
柿 崎 ルリ子(本堂東部)
熊 谷 昭 造(土崎北部)
高 橋 汎(塚)
藤 澤 晟 孝(橋本)
加 藤 春 代子(石神)
辻 奈 美子(荒町)
熊 谷 弘 子(米町)
出 雲 房 子(中島・藤原)
千葉 一 夫(百目木)
木 下 信 隆(石神)
高 橋 成 人(千屋北部)
照 井 成 一(後三年)
高 橋 愛(押切紀の国)
高 橋 美由紀(上千間谷地)
小 西 ヨシ(荒町)
加 藤 勇 孝(新町)

※敬称略・順不同

※欠員については後日理事会にて選任

(任期：平成20年10月1日～
平成22年9月30日)



亀 谷 美枝子
(旭町)



加 藤 伊三雄
(土崎北部)



高 階 昭 男
(黒沢)



齊 藤 忠 治
(元本堂南部)

長い間、お疲れ様でした
退任された理事の方々

今回の役員改選により、会長の高柳照見氏の他、副会長齊藤忠治氏、理事の高階昭男氏、加藤伊三雄氏、亀谷美枝子氏が退任されました。

これまで本会の運営並びに本会事業推進にご尽力をいただき、心から感謝するとともに、これからもご指導ご協力をお願いいたします。

※敬称略・順不同

平成20年度 地域福祉座談会終了

～全地区で424名の町民が参加～

11月10日(月)～11月21日(金)に亘って美郷町内40会場で開催された地域福祉座談会には、大勢の町民の皆様からご参加をいただき誠にありがとうございました。

今回の座談会は、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』をテーマに、主として社協が取り組んでいる事業を説明し、その事業について参加された方々と一緒に考え、話し合いました。住民一人ひとりの生き方を考え、ふれあいをどう作り上げていくか、その中で出された意見や要望を住民総参加の『福祉まちづくり』に向けた事業の推進に役立てて行きたいと思えます。

話し合われた意見・要望

(地域住民グループ支援事業)

- ・元氣がある人は参加してくれるが、参加してほしい人に限って来てくれない。前は男性も参加してくれたが徐々に男性の参加が減ってきている。
- ・集まって笑い、ストレス発散するのが大切なので是非行なってほしい。

(振り込め詐欺)

- ・息子を使い『携帯電話がかわった』という内容で電話がくる。
- ・たまされてしまう人は、自分の子供を信用していないのではないかと思う。

(チャリティバザー)

- ・出品する人が決まっており、回っても「ない」といわれてしまい、逆に気分を害してしまう。
- ・回収方法について、地区の組ごとでもバラバラ。一軒一軒回れば集まるが回覧のみだと集まらない。
- ・出品する物がなく、現金でも良いかという人もいる。
- ・他地区で行なっても交通手段がないのでいけない。

(介護保険制度)

- ・どこへ申請したらよいかわからない。
- ・要支援と判定されて、今まで受けていたサービスが、受けられず困っている。(特に、一人暮らし高齢者が困っている)

(除雪の問題)

- ・自宅前に重い雪の固まりをおいていかれると困る。
- ・雪をよせたと思うと、また寄せないといけなく大変で年を感じます。

(地域福祉座談会)

- ・座談会を行う際は、広報車で呼びかけではどうか。
- ・以前は毎年だったので、関心も高く参加者も多かったが、合併後は2～3年に一回なので参加者が減った。

(社協会費)

- ・会費などが福祉事業へ役立っていてありがたいし、もっとたくさんの人から知ってもらえればいい。

(乗合タクシー)

- ・予約後都合が悪くても、時間の変更してもらえず困っている。
- ・決められた乗降場所にしか止まらないので不便である。(目的地まで歩かないといけなく、途中で降りたくても降ろしてくれない)
- ・アンケートへ記入したが改善されない。
- ・バスの路線廃止に伴い、相乗りタクシーの運行を町で行なっているが、3つのエリアがあり、目的地によってはかかる料金に差が出るので、あまり良くないのではないか。
- ・乗り場まで距離がありすぎて、制度が無いのと同じ。

(その他)

- ・一人暮らし、二人暮らしの人で遠くに子どもがいる人でも町(社協)が援助しているのは少し疑問だ。同居していても金銭的な面など大変な家もあるのでは？
- ・人口がどんどん減ってきており、将来が不安になる。
- ・地域の人づくりが求められるなか、リーダーとなってくれる人がいない。
- ・施設に入所し空き家になっているお宅の、寄付金集めや配布物などはどうしたらよいか。



地域福祉座談会の様子

- ・介護している人の気持ちを理解し、感謝する気持ちを持つてほしい。(特に若い人に)
- ・会館等集まる場所がなく困っており、会議なども個人宅で行なっている。
- ・各事業(福祉大会など)を各地区に定着させてはどうか。
- ・合併してから良い事ない。
- ・合併してから今まで行なってきた行事に対して気持ちが薄れてしまった。
- ・婦人会・青年会がなくなり集落内のまとまりがなくなった。
- ・災害が起きた際の避難場所は周りが田んぼや畑なので問題はないが、その後が心配である。
- ・子供のあいさつに対して、あいさつを返さない大人がいる。改善できないのか。
- ・家族が仕事に行き、日中一人になつてしまふ高齢者が多いので対策はないか。
- ・65歳以上の一人暮らしの方の調査を、社協で年1回行なっているようだが、その調査に洩れる方もいるようなのでもう少し調査方法を検討したらどうか。

美郷町社会福祉大会

「住民の手づくりによる
福祉で地域づくり」を目指して」



10月23日、仙南公民館で開催された第五回美郷町社会福祉大会では松田知己町長、伊藤福章町議会議長ご出席のもと、約340人の参加者を集めて開催されました。

開会にあたり、高柳会長が「住民一人ひとりが福祉課題を自分自身の問題としてとらえるとともに、世代間の交流や地域社会への参加を通じて、住民自らが、生きがいのある充実した生活を送り、また、お互いに助け合っていくことが重要であり、顔の見える、声の聞こえる、手の届く、安心して暮らせるまちづくりをめざしていきたい」と式辞を述べ、地域福祉のさらなる向上のために努力していきたいとの決意を表し、その後、地域福祉の発展に尽力された四十九名二団体の方々にそれぞれ表彰状と感謝状が贈呈されました。

地域福祉でまちづくり

式典後の事例発表では、千屋小学校、仙南西小学校の児童と当社協で実習中の大学生が福祉活動などの実践事例を発表しました。

今回発表してくれた小学生の活動は、本会が町内の小学校、中学校、高校に毎年交付している福祉教育推進助成金を充てて行った施設研修や福祉学習の様子を紹介してくれたものです。発表してくれた方たちは次のとおりです。

◇レッツゴー！きらりヘルパー隊

千屋小学校3年生

高階 笙さん、藤本惇矢さん
細井隆介さん、嶋津黎佳さん

◇仙南西の福祉交流活動

仙南西小学校6年生

柳原彩花さん

◇元気な地域づくり～自殺予防について～

青森大学社会学部社会福祉学科

4年生 進藤 晋さん

事例発表終了後は、歌と踊りのアトラクションが行われ、楽しいひとときを過ごしました。

少し冷たい風が吹く中ではありましたが、参加してくれた皆さんの表情には、支え合う心を持ち、これからの地域福祉向上に向けた活動に関心をもっていただけ

るのではな
いかと強く
感じさせて
くれるよう
な温かいま
なざしや笑
顔が多く見
られた晩秋
の一日とな
りました。



学校の福祉活動紹介

～捨てないで、その入れ歯～

不要入れ歯の寄付を受け付けています

不要入れ歯が世界の子どもを救う

美郷町社会福祉協議会では、日本ユニセフ協会とNPO法人日本入れ歯リサイクル協会及び秋田県社会福祉協議会と協力を結び、不要入れ歯のリサイクル事業に11月から取り組んでおります。

今までゴミとして捨てられていた「金具の付いた入れ歯」を資源に生まれ変わらせることで、地域の資源を有効活用すると共に、世界の子供達の支援活動や環境保護活動及びその還元金を財源として受入れ、地域福祉活動の推進のために役立てられます。

◆リサイクルできるもの◆

※金属の使われていない入れ歯は回収できません。

・金属のついてる入れ歯

歯にかぶせた「クラウン」 歯に詰めた「インレー」
歯と歯をつないだ「ブリッジ」

◆回収ボックス設置場所◆

・各福祉センター窓口

・よってって(仙南地区後三年)

・まめだ屋(六郷地区馬町)

◆お問い合わせ先◆

美郷町社会福祉協議会 各福祉センター



寄付の方法

- 1 入れ歯は、歯ブラシ等でブラッシングして下さい。
- 2 熱湯をかけて消毒するか、洗浄剤で洗浄して下さい。
- 3 消毒した入れ歯を新聞紙か広告の紙に包んで、回収ボックスに置いている専用のビニール袋等に入れて下さい。
- 4 専用の回収ボックスに投函してください。

地域福祉トータルケア推進事業

●花いっぱい活動報告

地域福祉トータルケア推進事業の一つとして、花いっぱい活動を展開しました。

花作りボランティアのご協力により、450個のプランターに植えられたマリーゴールドを栽培しました。

花を通じて地域のふれあいを交わしていただこうと、町内16ヶ所への設置と、学校や福祉施設12ヶ所へ、美しく開花した花を届けました。

来年もまた‘花の芽’‘福祉の芽’が花いっぱい咲きますように…



見事に咲いたマリーゴールドの花

●マジック教室～世代間交流事業～

10月14日（火）清水の里ふれあいいきいきサロン『まめだ屋』にて、小学生と高齢者を対象に“マジック教室”を実施しました。

六郷小学校のマジッククラブの生徒3名と加藤勇孝先生から、マジックを教えてくださいました。子供達の元気でにぎやかな笑い声の中で楽しい時間となり、参加者の高齢者の方で『(家に) 帰ったら家族や孫に披露したい』と話してくださった方もいました。

マジックを通して子供から高齢者まで、世代を超えた交流を深める機会となりました。



和気あいあいとした雰囲気の中で

毎年、美味しいお伊モをありがとう

総合的な学習の時間における福祉・ボランティア教育の一環として、六郷東根小学校では以前から児童が植えて収穫したサツマイモを町内の福祉施設に届けています。

このような活動に取り組んだきっかけは、福祉・ボランティア教育の中で毎年実施している老人保健施設「杏授苑」に入所している高齢者の方々と交流です。訪問させていただいているお礼として感謝の気持ちを伝えたり、多くの方々に喜んでもらえるにはどうしたらよいかを考えたときに、自分達にできることは“美味しいサツマイモを届けること”という思いが児童達にあり、サツマイモの苗を植える段階から収穫まで自分達で行ない、その収穫したイモを届けるということを思い付き、それから毎年恒例の行事として活動が続けています。焼きいも会には地域の方々も招待しみんなでおいしく食べました。

社会福祉協議会にも毎年届けていただき、町内の高齢者の方々に届けているお弁当に活用させていただいております。

これからも伝統行事として是非続けていってもらいたいと思います。



収穫したサツマイモを届けてくれた
六郷東根小学校6年の児童の皆さん

まちかど相談～気軽にご相談ください～

美郷町社会福祉協議会では、町民の日常生活のあらゆる相談に応じる〈まちかど相談〉を実施しています。町内のこのシールの貼ってある個所へ気軽にご相談ください。



【まちかど相談員が替わりました】

人権擁護委員の長谷川大三氏（千屋北部）が退任され、後任に戸沢明人氏（一丈木）が就任しました。

【その他の相談】

ふれあい相談：毎週水曜日 10:00～15:00

法律相談：弁護士による法律相談（随時受付します）

心の相談：毎月第2火曜日（専門の医師による相談）

※法律相談・心の相談は受付が必要です。

六郷高校 福祉科通信

師走の風が身にしみるところとなりました。これから寒さも日に日に厳しくなっていく予定です。

福祉科2年生は訪問介護員二級養成研修が始まりました。それに伴って施設実習も行われています。緊張しながら真剣に取り組んでいます。

3年生は1月末に行われる「介護福祉士国家試験」の合格を目指して日々勉強に励んでいます。

これまで、様々な面で地域の方々から協力とご支援をいただき、ここまで来ることができました。本当にありがとうございます。

【最近の学校の様子】

◇9月6日(土) 美郷町チビツ子フェスティバルに参加しました。「高校生と遊ぼう」のコーナーではコースター作成、輪投げ、塗り絵など自分たちで考え準備をしてきました。沢山の小学生とふれ合う機会がありとても楽しい一日となりました。

◇10月10日(金) 六郷高等学校創立六十周年の記念式典が本校体育館で行われました。

記念講演として、12期卒業である社団法人秋田県看護協会理事／看護師職能委員長三浦ノリ子さんから「私の歩いてきた看護の道」と題し講演をいただきました。また、映画「ふるさとを下さい」を全校生徒で鑑賞し障害者福祉について考える機会となりました。



◇10月25日(土)・26日(日)

大仙市秋の稔りフェアが開催され、福祉科3年生が参加しました。秋田県高等学校産業教育フェアの行事の一つとして大曲工業高校、大曲農業高校、大曲高校と一緒に高校生が若いうちからPRしてました。



「大仙市秋の稔りフェア」
六郷高校福祉科の紹介

◇10月末から11月にかけて福祉部は「後三年鴻声の里」「角間川更生園」「すこやか大雄(大和更生・ユイポップハウス)」で秋祭りボランティアを行いました。1年生だけの初めての参加で緊張したようですが、一生懸命お手伝いしてました。

【福祉科二年生の実習】

前期実習

11月17日(月)～26日(水)

後期実習

1月26日(月)～30日(金)

◇ルートピア緑泉 ◇ルートピア仙南

◇杏授苑 ◇真昼荘 ◇真森苑 ◇真木苑

◇こもれびの杜 ◇桜寿苑 ◇すこやか横手

◇ビハーク横手 ◇やすらぎの苑(11施設)

◇社会福祉協議会(美郷・大仙・横手)

※同行訪問実習とディサービス実習もあります。



【これから行事予定】

◇「サンワーク」クリスマス会参加

福祉科では「社会福祉援助技術」の授業の一環として「サンワーク」で実習をさせていただいています。毎年12月には、2年生が利用者さんと一緒にクリスマス会を行っています。

今年は福祉科・福祉部・生活文化コースの生徒がプレゼントのツリーを作りました。

◇「まめだ屋」展示のご案内

平成21年1月19日(月)～30日(金)まで、六郷高校文化部の作品展示をします。写真部・美術部・書道部が参加予定です。

昨年、「まめだ屋」がオープンした時、入り口の看板を六郷高校美術部員が制作しました。部員は、ここで展示できることを大変うれしく思っているそうです。是非、おいで下さい。

◇今年もやります「除雪ボランティア」

昨年は1年生(現2年生)全員で一人暮らしのお宅の除雪のお手伝いをしました。悪天候の中での作業でしたが、町内のボランティアの方々と一緒に汗を流して頑張ったことが思い出されます。今年の1年生も先輩達から話を聞いて、お手伝いしたいと全員張り切っています。

3年前、六郷高校野球部が除雪を行ったことがきっかけとなって始まりました。これからも、六郷高校の冬の行事として伝えて行きたいと思っています。

風邪が流行し始めました。

「手洗い・うがい」を徹底して風邪に負けないように暖かくしてくださいね。

来年もよい年でありますように。



■千畑福祉センター受付分

一般寄付

中野 高橋 享三様
よねや商事株式会社様
美郷町身体障害者協会様
東京都文京区 煙山 力様
千畑 中学 校 様
西高方町 高柳 照見様
匿名 名

香典返し

本堂東部 藤本 雅之様
本堂西部 進藤 喜清様
塚 田口 稲和様
湯竹 深澤 耕作様
塚 高橋 豊和様
小荒川 戸沢 実様
千屋南部 渡邊 正毅様
黒沢 高階 巧様
元本堂南部 高橋 満雄様
千屋南部 今川 辰也様
千屋南部 今川 真琴様
上畑屋 武藤 昌様
上畑屋 武藤 慎吾様
土崎南部 傳野 幸夫様
元本堂南部 高階 次郎様
小荒川 佐藤 秀文様
小荒川 加藤 征輝様
大柳 藤井 幸三様
上畑屋 武藤 武則様

■六郷福祉センター受付分

一般寄付

野中 齋藤 義孝様
東高方町 相馬 俊廣様
表千家同門会秋田支部様
六郷 婦人 会 様
医療法人寿康会
老人保健施設杏授苑様

香典返し

新町 高橋 孝夫様
西高方町 富樫 正典様
荒町 井関 一男様
本道町 関 勇一様
旭町 坂本 良子様
新町 田口 良治様
大町 渋谷 アイ様
西高方町 右谷 秀樹様
新町 板谷 睦雄様
押切紀の国 高橋 勇治様

物品寄付

六郷 小学校 P T A 様
六郷東根小学校全校生徒一同様
衣類
さつまいも一箱

■仙南福祉センター受付分

一般寄付

長岡森 坂本 時雄様

善元寺 橋 喜佐子様
善元寺 藤井 光紀様
善元寺 畠山 金男様
第一曉 戸沢 一彦様

香典返し

秋田建築労働組合大曲支部
支部長 片野 良治様
さなぶり実行委員会様
扇龍会 代表 嶋田ヤイ子様
駅前 京野 朗様
上林沢 澁谷 久一様
元村 照井 順一様
駅前 渋谷 博様
後三年 久米 良治様
後三年 福島かよ子様
下夕堰 照井 享悦様
佐野 大阪 孝次様
御前 高橋 一彦様
金沢谷地中 外山 光明様
百目木 稲川 直美様
石柳 松田須美子様



以上の方々より当協議会の善意の金品をご寄付いただきました。ご厚意に対し心からお礼申し上げます。
ご寄付いただいた場合、必要の方へはがき(忌明け・快気祝い等)を無料でお届けいたします。

平成20年6月13日

12月8日受付分

あとがき

11月19日に天気予報どおり初雪が降り、毎朝布団から出るのが億劫な季節になりました。

地域福祉座談会でも、「今年は雪なんとだしべな〜」という言葉をよく聞かれました。この時期の挨拶代わりのような言葉ですね。気象庁の予報では今年の冬は暖冬だとか。まい「どうか予報どおりになりますように」と願うばかりです。

皆さん、良い年をお迎えください。

「ウッホー」のすくすく日記は、今回お休みします。

手芸広場・歌声健康広場のお知らせ

美郷町社会福祉協議会

●金沢西根(今泉)コミュニティーセンター

手芸広場 12月22日(月) 午前9時30分～午後3時
歌声健康広場 1月26日(月) 午後1時30分～午後3時30分

●金沢(新道)コミュニティーセンター

手芸広場 1月19日(月) 午前9時30分～午後3時

●後三年(雁の里)よってって

手芸広場 1月26日(月) 午前9時30分～午後3時

●特別養護老人ホームロートピア仙南地域交流スペース

歌声健康広場 12月22日(月) 午後1時30分～午後3時30分

誰でも・どこでも、自由に参加できます。

※手芸広場の一日参加の場合は、各自おにぎりを持参願います。
※歌声健康広場では健康体操・唱歌・歌謡曲を行います。



社会福祉
法人

美郷町社会福祉協議会

〒019-1541

秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1

TEL 0187 (85) 2294(代) FAX 0187 (85)

千畑福祉センター 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1 TEL0187 (85) 2294(代) FAX0187 (85) 2291

六郷福祉センター 〒019-1402 秋田県仙北郡美郷町野中宇下村37番地1 TEL0187 (84) 0378(代) FAX0187 (84)